

とちぎ夢大地応援団（11月21日実施）

～茂木町小貫地区「焼森の里入口」のツツジ等の植栽～

茂木町の南端「小貫地区」において、11月21日、小貫焼森の里づくり協議会（河田周一会長）が主催する夢大地応援団活動が行われました。第4回目を迎えた本年度は、焼森の里入口付近の斜面に、ヤマツツジ、熊笹を植栽しました。

当日はすがすがしい晴天に恵まれ、山頂に位置する小貫焼森の里（放牧場跡地）管理棟からは、紅葉した山並みを望むことが出来ました。参加者は夢大地応援団員、森林ボランティア、宇都宮大学教官など21名のほか、地元協議会員18名、関係指導機関7名の総勢46名でした。

活動内容は、近くの林でヤマツツジ、熊笹をスコップで採取し、これらを焼森の里入口に軽トラックで運んだ後、入口近辺に広がる斜面に1株ずつ植栽しました。足場が不安定な中での作業でしたが、各自安全には十分注意を払いながら、約40本のヤマツツジと200株ほどの熊笹をていねいに植え付けました。

昼食は河田会長と女性スタッフの皆さんが準備してくれた、定番のけんちゃんそばと漬物をいただき、手作りの味を堪能しました。また、昼食後の交流会ではビンゴゲームを楽しみながら、意見交換を行いました。この中で夢大地応援団に加入するナルクのメンバーは、「例年小貫地区に積極的に参加していますが、来年もぜひ参加したい」と意気込んでいました。

なお、ボランティアの皆さんには、当日、地域通貨「ゆめ」が手渡され、帰り際に「いい里さかがわ館」で、農産物を買って求めていました。



かみなぎる、夢大地応援団ボランティアの皆さん



小貫焼森の里周辺の眺望



参加されたボランティアの皆さん



河田会長よりあいさつ



原田先生より地域通貨の説明



一面熊笹の群落



熊笹を掘り取り



ツツジの株を掘り取り



軽トラックに積み込み



足もとに注意しながらの作業



斜面でのツツジの植え付け



息もピッタリ、熊笹を植え付け



河田会長自ら手打ちそばを準備



女性スタッフがおもてなし



手打ちそばの味を満喫



里山をみんなで守っていきましょう



地域通貨券を戴きました



通貨券を使って農産物を購入

